



# 7・8月新着本案内

2024年夏号  
瀬木学園図書館



●『臨床の質を高める基礎心理学』  
坂上貴之, 蒲生裕司編  
基礎心理学を身近に感じられるように工夫されています。公認心理師試験過去問のキーワードが青字で分かりやすいのもポイントです。(140/Sa28)



●『大学で心理学を学びたいと思ったときに読む本』富田健太, 讀井知編  
心理学を学びたい人に向けて、心理学の姿を解説しています。現在の心理学をリアルに知るためにピッタリな1冊です。(140/To58)

## ★図書館フェア関連図書(新紙幣発行展示)★

『渋沢栄一』橋本俊詔著(289.1/シ)  
『津田梅子』高橋裕子著(289.1/シ)  
『渋沢栄一と一万円札物語』オフィス303編著(337.4/オ)  
『津田梅子と五千円札物語』オフィス303編著(337.4/オ)  
『北里柴三郎と千円札物語』オフィス303編著(337.4/オ)  
新紙幣の顔になった一万円札の渋沢栄一、五千円札の津田梅子、千円札の北里柴三郎は一体どんな人物だったのか。思想や生涯が書かれた本です。



●『同性婚法制化のためのQ&A』  
「結婚の自由をすべての人に」訴訟全国弁護士連絡会著  
なぜ国は同性婚の法制化を認めないのか、結婚できないと起こる問題点は何かなどをQ&A方式で基礎から解説しています。(324.62/ケ)



●『アディクト(依存者)を超えて』市川岳仁編著  
依存症の回復施設(ダルク)や自助グループの活動を経て、社会に出ていくアディクトたちの第二の人生を描きます。回復とはなにか、支援とはなにか…。(368.81/I14)



●『教師と学生が知っておくべき教育原理』  
村瀬公胤, 武田明典編著  
教育の基本概念を「子ども」「学校」「家庭」「社会」から解説しています。「教育とは何か」について深く広く考えることのできる入門書です。(371/Mu57)



●『学校保健安全法に沿った感染症』岡部信彦著  
小児科医の臨床経験を活かし、新型コロナウイルス感染症を加えた最新の情報が載っています。登校登園の基準や、マスク着用の考え方なども分かります。(374.96/オ)

## ★就職活動本「内定獲得のメソッド」シリーズ★

『一般常識即戦力問題集'26』マイナビ出版編集部編(307.8/マ/2026)  
『自己分析'26』岡茂信著(377.95/オ/2026)  
『面接自己PR志望動機'26』才木弓加著(377.95/サ/2026)  
『Web面接'26』才木弓加著(377.95/サ/2026)



●『発達段階×絵本』木村美幸, 松寄洋子著  
乳児期から就学前までの月齢・年齢別の成長発達の特徴を一覧にまとめた本です。子どもの成長発達の目安に沿った、古今東西のロングセラー絵本も載っています。(376.15/キ)



●『虫と皮膚炎 改訂第2版』夏秋優著  
著者自らが実験台となり、様々な虫に刺されて作った「医学書&図鑑」です。日本で出会う「虫による皮膚炎」のほぼ全てを網羅しています。(494.8/ナ)  
※禁帯出本です。館内で閲覧してください。



●『ふくらむ加熱調理』長尾慶子著  
コロッケはどうして「はれつ」するのか？ドーナツのおいしそうな「きれつ」とは？加熱調理で膨らむ食品の表面に起こる「はれつ・きれつ」のメカニズムを紐解きます。(596/ナ)



●『ポテトチップスと日本人』稲田豊史著  
ポテトチップスを軸として、戦後食文化史と日本人について考えます。「のり塩」「コンソメパンチ」「ピザポテト」それぞれが流行った時代背景や、なぜ日本人がポテチを好きなのかなどを考察!!(588.39/イ)



●『粕汁の本ははじめました』松島むう 文・絵  
粕汁好きの著者が日本全国を食べ歩いて書いた、イラストたっぷりの粕汁探訪記です。お店、酒蔵、お寺など粕汁を食べることができる場所の情報などが載っています。(673.97/マ)



●『はじめて学ぶスポーツマネジメントの基礎と実践』中西純司編集  
スポーツマネジメントとは、スポーツ文化を普及・推進することです。この役割の必要性や考え方、基礎理論などを重点的に説明しています。(780.9/N38)



●『スマホは辞書になりうるか』石黒圭ほか編  
調べても調べても、知りたい言葉の意味にたどつけない…という経験はないですか。「検索の壁」に斬り込み、辞書ツールでのつまずきを減らす方法を考える本です。(810.7/I73)

●書名の前に●がついている本は分館に置いています。  
(●がない本は本館に置いています。)